

ー ヒヨコ・ニューサクルメンバー便り ー
8月4日(土)/サークルメンバー有志
「イワタバコが咲き乱れる有馬・白石谷へ」

ー王山支部 中村 順子

当初7月29日(日)に行われる予定だったヒヨコの単独例会/六甲山の魅力探訪シリーズ「六甲山地にイワタバコを訪ねる」は、近畿に上陸し西へ横断していった台風12号がもたらした大雨の為に中止となり、「せっかく楽しみにしていたのに!」と、恨めしく思っていた矢先「有馬の白石谷、大雨や台風の後やから、荒れとって入れるかどうかわからんけど、土曜日行けるメンバーで行ってみよか?」と、吉野会長からのお話が有り、「夕方友達と行く約束の花火見物に間に合うようであれば是非行きたいです!!」と即座にお願い。週末の土曜日にニューサクル有志6名と、新しくメンバーになれる予定のOさんが、会長のご案内で連れて行って頂くことになりました。

集合は神鉄有馬温泉駅8時30分。イワタバコってどんな花なんだろう?と思いながら他メンバーを待っていると、会長が「この花や!」と



小さくてかわいいイワタバコの花と葉

小さくかわいい花一輪と葉っぱを、そっ〜と見せて下さいました。「え〜こんな近くであるんですか?」・(紙面でお答えは出来ません!クローズ!)・「多分白石谷は見頃の花が咲いているだろう!」と言われたのでワクワクの気分です。天気予報では日中35℃前後になるという猛暑日ですが、会長曰く「谷筋へ入ったら結構涼しいよ!」の言葉を信じて歩き始めました。

ロープウエー駅の横を通り、紅葉谷へ入って行くハイキングコースは、未だ通行止なので、やむなく魚屋道経由の回り道に行くことになりました。魚屋道の登りは結構長いジグザグの登山道ですが、ショートカット(これもクローズ!)で登り、分岐で小休止。いつものように資料として近辺の地形図を頂き、現在地とこれから行くルートを確認しました。豪雨の爪痕はさほど大きくはなかったですが、河原が砂で埋まっていたり、川のサイドがえぐられていたりして、水の力の凄さがわかりました。

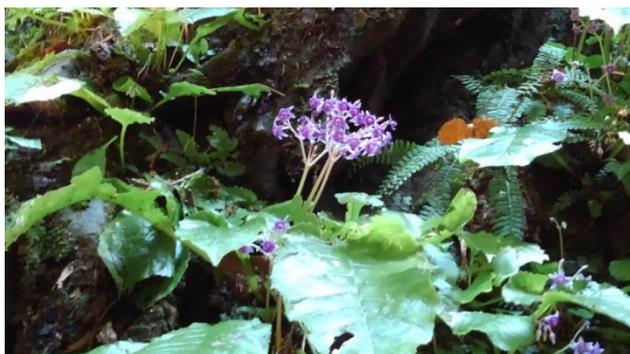


上・白石滝

下・白石滝の左右の岩場に咲くイワタバコ



左・白石谷へ（熟練者コース）、右・紅葉谷道（一般コース）の道標から左へ進み、沢を渡って荒れた道を少し上ると、堰堤の上の河原に出ました。ここは今年の1月、七曲滝や百間滝の氷瀑見学登山で会長に連れて来てもらった時、百間滝から降りてきた場所でした。すぐ左へ入った所の滝が白石滝で、滝の両サイドの岩壁には「咲いてる！咲いてる！ムチャクチャ咲いてる！！」と、一同大感激！！・・・。



白石滝では珍しく多く咲いていたイワタバコの花

【イワタバコについて】少し記しておきます。

谷間の湿った崖や、水の滴る岩壁に生えるイワタバコ科の多年草。楕円状の大きな葉は根の際につき、煙草の葉に似ているので「岩煙草」の名が付いたのでしょう。イワタバコ科には三千もの種があり、その中心分布は熱帯や亜熱帯地方です。日本に生育しているのはその中の数種だけです。関東地方より西の本州の太平洋側で見られる花茎や葉の裏面に毛のある種は「ケイワタバコ（毛岩煙草）」と言われ、7月後半から8月にかけてピンク色が少し入った薄紫色の花を咲かせます。有馬・白石谷周辺の岸壁で見られるものは多分この種でしょう。若葉を山菜として食にする地方があるらしいですが、どんな味がするのでしょうか？食べたことが無いのでよくわかりません。（ネット検索にて）

さて、ここは白石谷の未だ入口にすぎません！まずはこの滝の上側へ登り、滝を巻くように進んで谷へ下ります。河原は岩や倒木などが散乱（崖崩れや豪雨で押し流された）していました。

とにかく足元の悪い谷筋をひたすら上ります。左右の岩壁にはイワタバコがビッシリと咲いているのですが、沢の渡渉に集中するため、ゆっくり見る余裕はありません！先週行った芦屋の地獄谷とは又異なったスケールで、緊張が走ります！・・・岩壁が迫る場所の左側から流れ落ちる滝は「白龍滝」の表示有。ここで休憩になりました。



白石谷の中間にある 白龍滝 にて



初めての、しかも足場の悪い沢を登っていると緊張感で喉はカラカラ！・・・休憩中に十分な水分補給をし、左右の岩壁に群生して咲くイワタバコの鑑賞をしました。



上・岩壁の角度で下向きに咲いたイワタバコ



上・下 岩壁に行儀よく横に並んで咲くイワタバコ



10分程の休憩の後、出発。ガラガラの崩れた岩を超えて進むと、正面にロープが上から垂れ下がっている岩場へ出ました。会長が先に上り、

上から一人一人に声をかけ、足の置く位置やロープを握る位置など細かくアドバイス。全員、ずり落ちる？ことなく無事登り切りました！！しかし、「白石谷」との名前から初めてここへ入って来る登山者のほとんどは私のように、白く丸〜くかわいい石が沢山ある谷・・・のようなイメージを持たれるのでは？・・・とんでもありません！！こちらのほうが「地獄谷」でした！



沢の水がなくなる前に早めのランチタイム！

昼食後、六甲最高峰手前の魚屋道まで出る急な登りの大変だったこと！・・・皆さん、声も出ませんでしたね〜！！・・・

有馬温泉駅へは2時ジャスト着。会長の時間の読みにはいつもびっくりします！そして駅横の酒屋さんで有馬の地ビールで全員無事帰還??を祝っての乾杯をしました。「ムチャクチャ美味しかった〜！！」その夜ホテルから眺めた花火とともに、思い出に残る1日となりました。



カンパ〜イ！ お疲れさま！

天候 快晴
参加者 8名